



## 鹿児島港本港区エリアについて

1926(大正15)年

1932(昭和7)年

1955(昭和30)年

2005(平成17)年

桜島

多賀山公園

石橋記念公園

鹿児島駅

歴史と文化の道地区

鶴丸城跡

城山

朝日通り

みよなみ大通り

いつる・天文館地区

鹿児島中央駅

県道204号・214号・216号

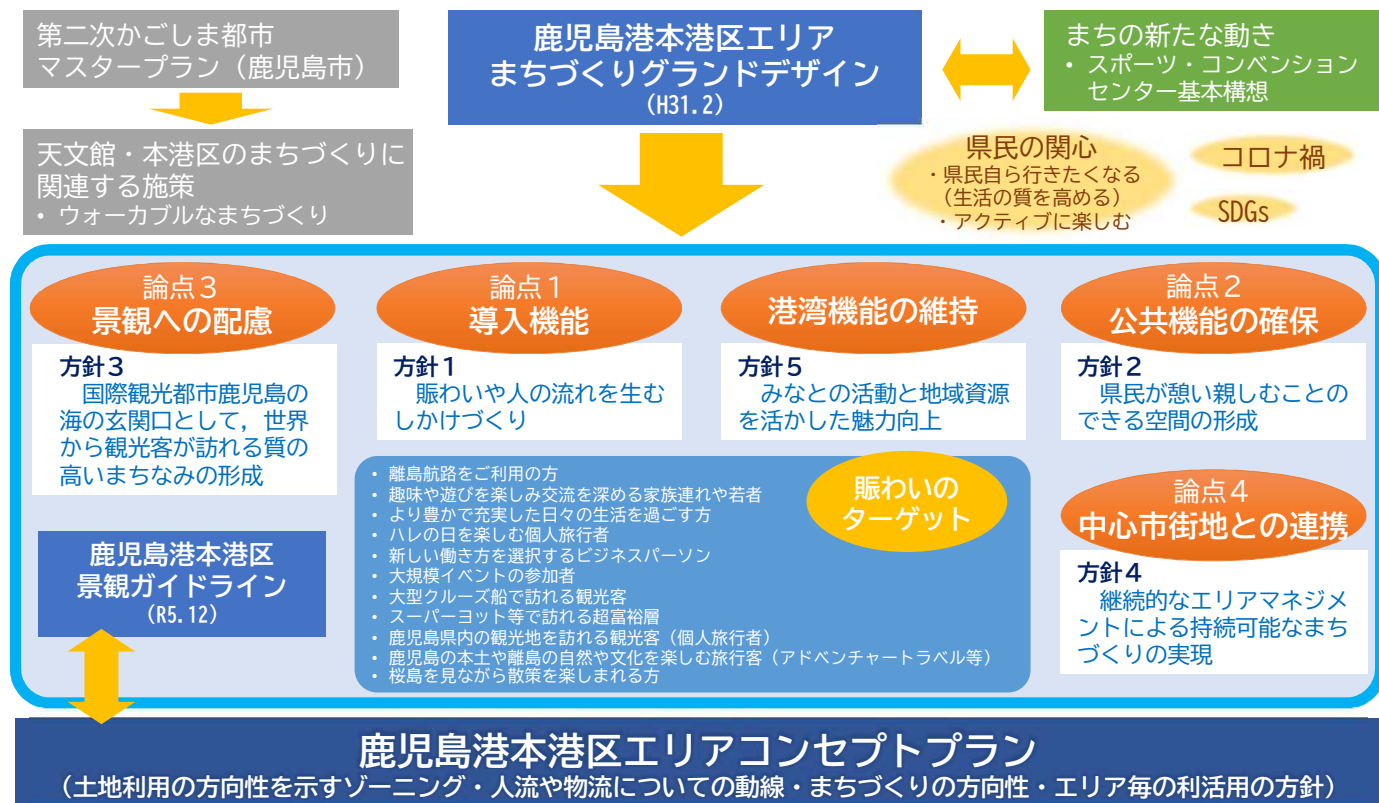
鹿児島東西幹線道路(計画)

パーキング・ホビー街

500m

- 鹿児島島の海の玄関口として古くからの歴史を有する
- 錦江湾や桜島の景観をはじめ、旧港施設など自然景観や歴史、文化に恵まれた地区
- 中央駅～いつる・天文館地区～本港区の軸線は、鹿児島市の都市軸として位置づけ
- 「歴史と文化の道」地区から本港区へ向かう朝日通りは、桜島を正面に据える
- 2本の主要な自動車道路で、中心市街地と隔てられる
- 都市軸からの人の流れや地域の資源、まちなみと連携させたまちづくりが課題

# 鹿児島港本港区エリアまちづくり検討の推移



## グランドデザインの実現

3

# 鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会

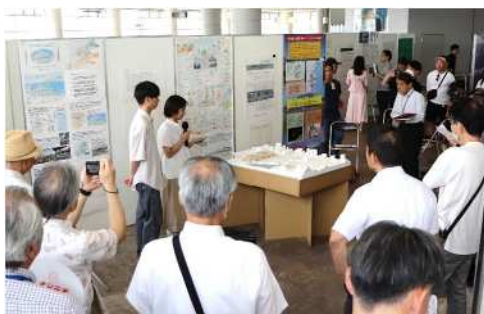


**利活用検討委員会** 委員15名 令和4年12月から令和6年1月まで計8回開催  
YouTubeでライブ配信及びアーカイブ配信を実施

**実地調査** 高松港及び長崎港を調査（令和5年6月）

**幹事会** 幹事9名 令和5年5月と8月の2回開催 YouTube配信(ライブ, アーカイブ)実施

**利活用アイデア** 令和5年2月から4月まで 県内外から234件の応募  
応募者のうちプレゼンを希望された96者全員をポスターセッションで公表し,  
7者はプレゼンテーションも実施



4

# 県民意見はどのように活かされたか

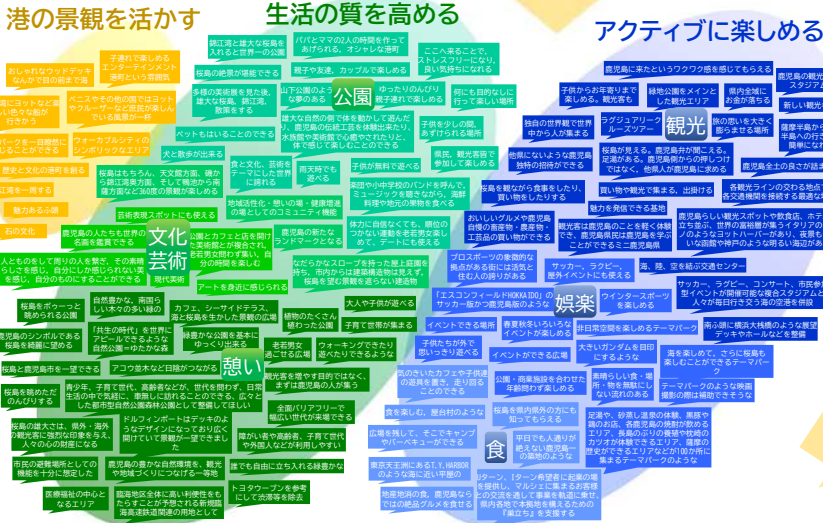
- ・ 234件の県民意見から、県民が共感し共有できると考えられる本港区エリアのまちづくりに対する期待を3つのキーフレーズに整理し、ゾーニングの方向性を決定
- ・ さらに、234件の県民意見をもとに、本港区を訪れる方を11の「賑わいのターゲット」に整理
- ・ これらのゾーニングの方向性や賑わいのターゲットを踏まえてゾーニングを行った

## 234件の県民意見



3つのキーフレーズに整理

11の賑わいのターゲットに整理

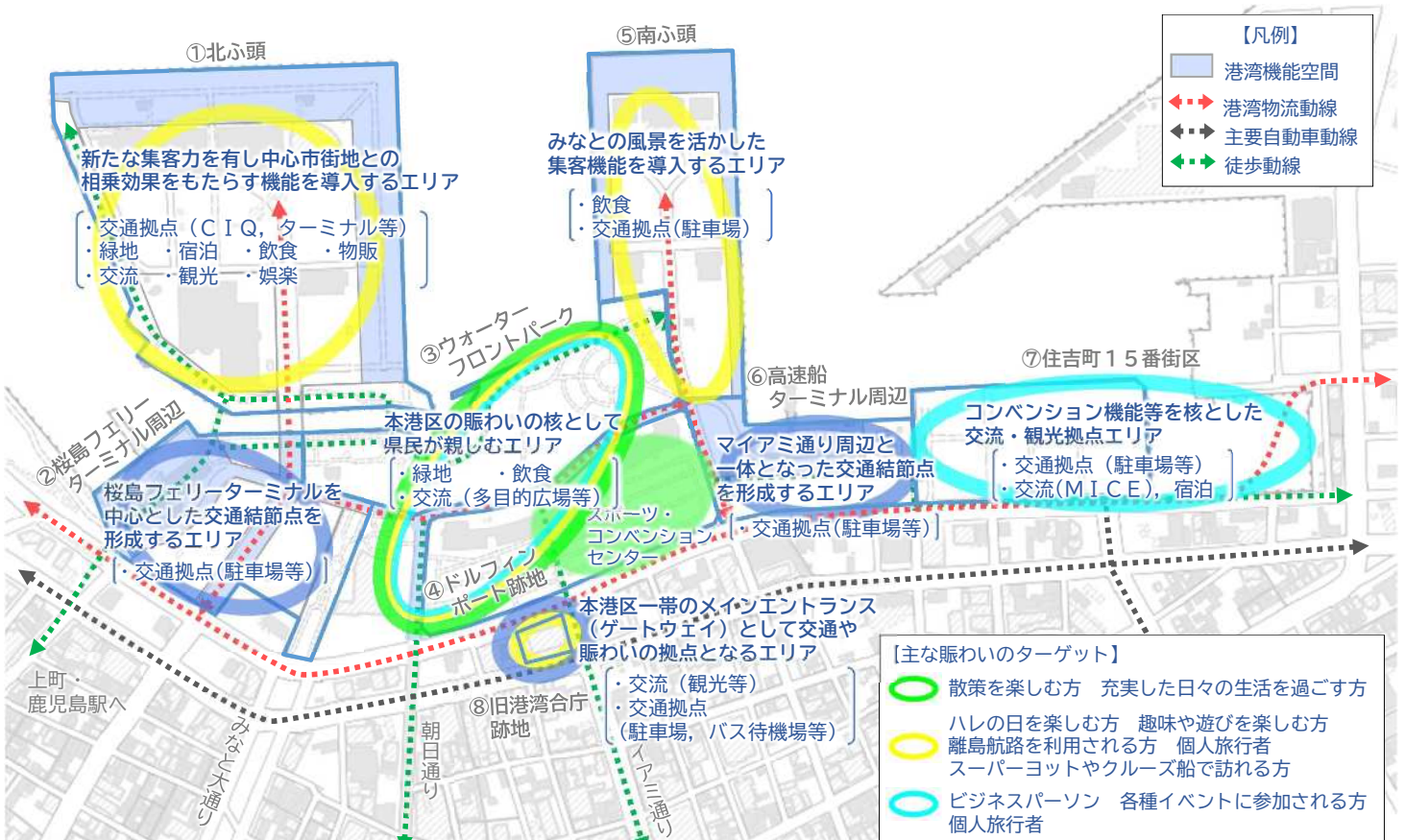


## 賑わいのターゲット

- ・ 離島航路をご利用の方
- ・ 趣味や遊びを楽しみ交流を深める家族連れや若者
- ・ より豊かで充実した日々の生活を過ごす方
- ・ ハレの日を楽しむ個人旅行者
- ・ 新しい働き方を選択するビジネスパーソン
- ・ 大規模イベントの参加者
- ・ 大型クルーズ船で訪れる観光客
- ・ スーパーヨット等で訪れる超富裕層
- ・ 鹿児島県内の観光地を訪れる観光客（個人旅行者）
- ・ 鹿児島県の本土や離島の自然や文化を楽しむ旅行者（アドベンチャータラベル等）
- ・ 桜島を見ながら散歩を楽しめる方

## ゾーニングの設定

## ゾーニングについて



## まちづくりの方向性に関する5つの方針



### 方針1 賑わいや人の流れを生むしかけづくり

- ・幅広いターゲットが訪れ、中心市街地との相乗効果を生み出せる機能を導入し、賑わいの最大化を図る



### 方針2 県民が憩い親しむことのできる空間の形成

- ・ウォーターフロントパークを中心に、桜島や錦江湾への視点場へと人々を導くオープンな空間形成を図る



### 方針3 国際観光都市鹿児島島の海の玄関口として、世界から観光客が訪れる質の高いまちなみの形成

- ・クルーズ船やスーパーヨット等で、桜島や各離島等に世界から観光客が訪れる質の高いまちなみを目指す

7

## まちづくりの方向性に関する5つの方針



### 方針4 継続的なエリアマネジメントによる持続可能なまちづくりの実現

- ・関係機関や中心市街地と連携し、本港区のアイデンティティ（特色，個性）や価値を高める取組を進める



### 方針5 みなとの活動と地域資源を活かした魅力向上

- ・荷役活動や歴史的建造物など、鹿児島港ならではの魅力を活かしながら賑わいを創出する



# 各エリアの利活用の方針

『本港区の賑わいの核として県民が親しむエリア』  
 ウォーターフロントパークエリア  
 及びドルフィンポート跡地エリア

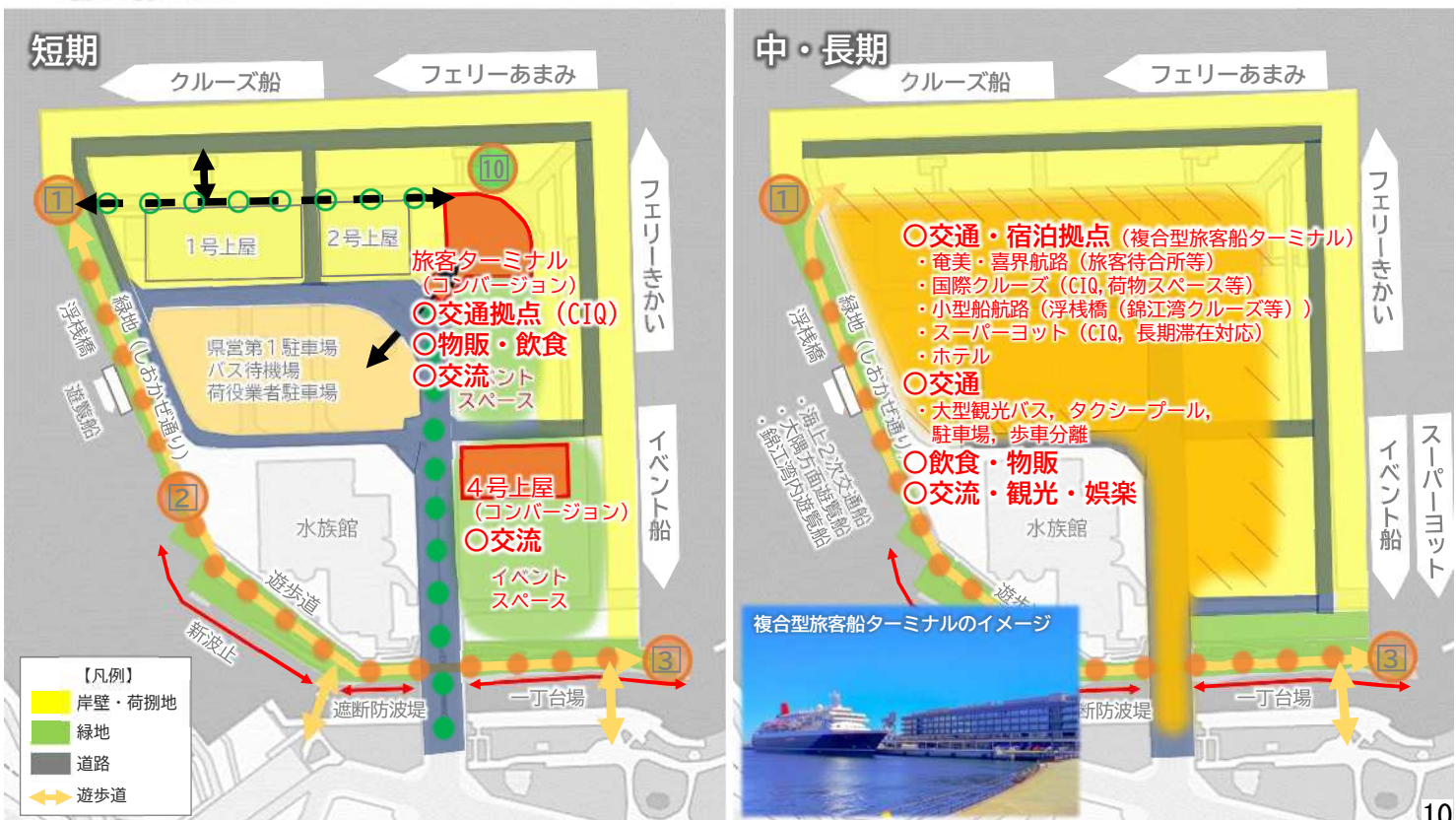


- 【凡例】
- めぐりの路 (水際線のプロムナード)
  - めぐりの路 (各通り, 臨港道路)
  - のぞみの場
  - たたずみの場
  - ⊙ 歴史的建造物
  - 緑地
  - 遊歩道



# 各エリアの利活用の方針

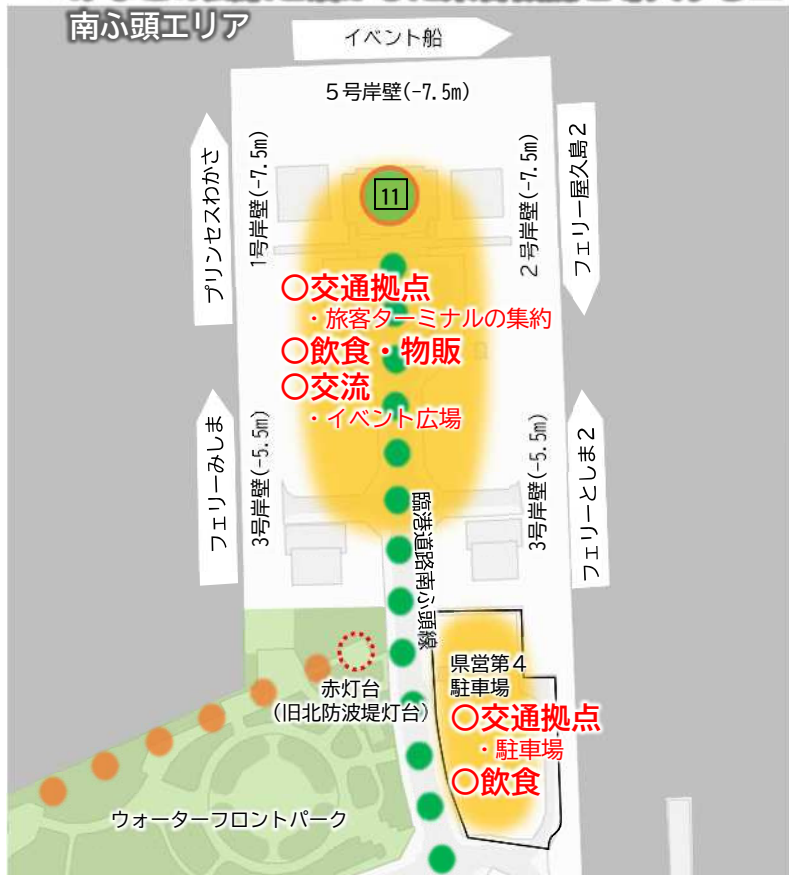
『新たな集客力を有し中心市街地との相乗効果をもたらす機能を導入するエリア』  
 北ふ頭エリア



# 各エリアの利活用の方針

## 『みなとの風景を活かした集客機能を導入するエリア』

### 南ふ頭エリア



南ふ頭の夜景(十島航路)



定期船接岸状況



定期船接岸状況



# 各エリアの利活用の方針

## 『桜島フェリーターミナルを中心とした交通結節点を形成するエリア』

### 桜島フェリーターミナル周辺エリア



## 『マイアミ通りと一体となった交通結節点を形成するエリア』

### 高速船ターミナル周辺エリア



## 各エリアの利活用の方針

### 『コンベンション機能等を核とした交流・観光拠点エリア』

住吉町15番街区エリア



MICE・バンケット・ホテルのイメージ



MICE施設のイメージ



バンケットのイメージ

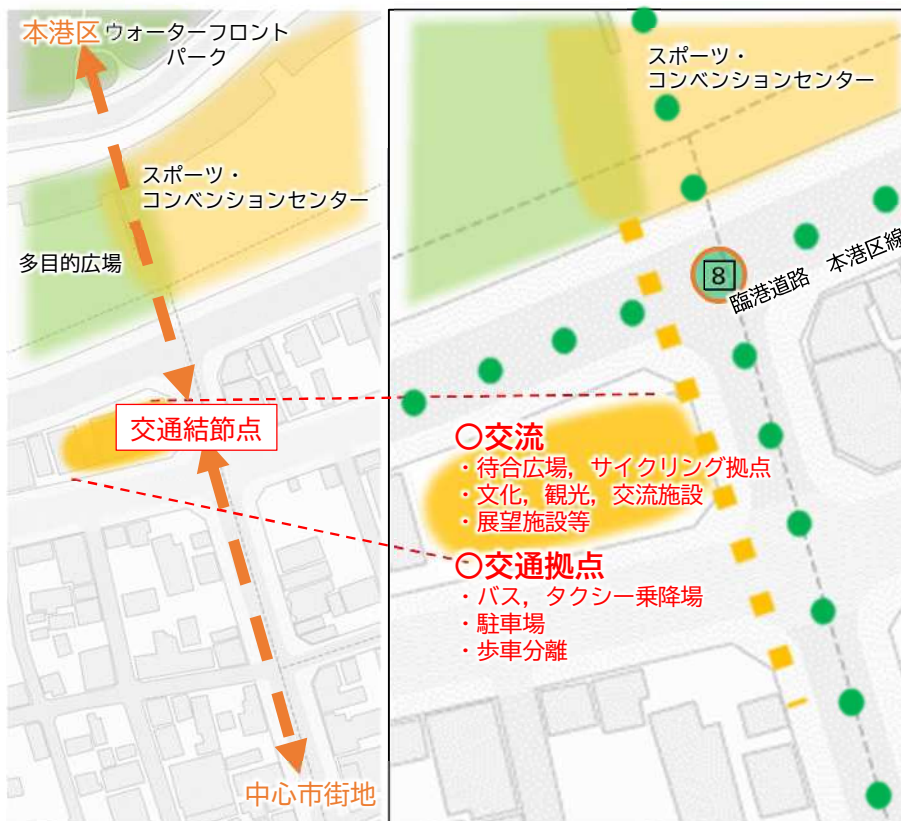


13

## 各エリアの利活用の方針

### 『本港区一帯のメインエントランス(ゲートウェイ)として交通や賑わいの拠点となるエリア』

旧港湾合庁跡地エリア



サイクリング拠点のイメージ



ペDESTリアンデッキのイメージ)



14

# 鹿児島港本港区景観ガイドラインについて

- ・ 桜島の眺望やまちなみ景観など、本港区エリアにふさわしい景観・デザインについて基本的な方向性を示すことにより、建築物や公共土木施設等の整備に反映し、良好な景観形成と魅力向上を図る
- ・ 3つのポイントに基づき本港区エリアの良好な景観形成を目指す

## 景観ガイドラインの「配慮の方針」

- Point 1** 錦江湾や桜島、歴史的建造物等の景観資源に配慮します
- Point 2** めぐり、たたずみ、のぞむことができる、歩行者目線での良好な景観形成を目指します
- Point 3** 多様な来訪者が行き交い集う魅力的な空間形成を目指します

### 【配慮する事項】

- ・ 建築物等の高さ
- ・ のぞみの場からの見通し確保
- ・ 回遊動線におけるオープンスペース、回遊性の確保
- ・ 水際空間やまちなみ形成に関する事項 など

### 【ガイドラインの実現に向けて】

- ・ 本港区エリアで建築物や公共土木施設等を整備する際は、事業者等は港湾管理者との協議の場を設け、設計・施工段階における景観・デザインに関して確認・調整を行う



15

## 回遊動線（水際線のプロムナード）と視点場の設定

- ・ 白灯台から、国の重要文化財である石積み護岸を経て、国の登録有形文化財である赤灯台へと至る、本港区の歴史を感じられる回遊動線を「めぐりの路（●●●水際線のプロムナード）」と設定



### 【視点場の設定】

- ① のぞみの場  
錦江湾・桜島への眺望を確保する必要がある場所
- ⑩ たたずみの場  
まちなみや港の活動などを立ち止まって眺める場所



16

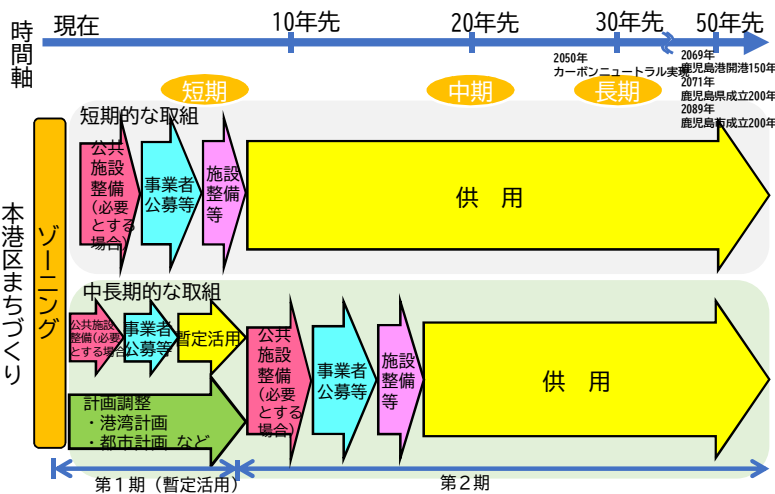


# 回遊動線（各通り、臨港道路）と視点場の設定

- 市街地中心部から水際線のプロムナードへとつながり、錦江湾・桜島、歴史やまちなみ、活きた港の活動などの魅力を感じられるルートをも「めぐりの路（●●●各通り、臨港道路）」と設定



# エリアコンセプトプランの実現に向けて



- エリアコンセプトプランの実現に向けて、関係者が連携し、50年、100年先を見据えたまちづくりを進める
- ゾーニングに基づく具体的な事業については、鹿児島市や港湾関係企業・団体、経済団体、中心市街地等の関係者と連携し、エリア毎に大まかな整備スケジュールとともに決定する

鹿児島港 港湾計画

鹿児島市 都市計画

平成31年2月策定  
鹿児島港本港区  
エリアまちづくり  
ランドデザイン

今回策定  
鹿児島港本港区  
エリアコンセプト  
プラン

令和5年12月策定  
鹿児島港本港区  
景観ガイドライン

鹿児島港本港区エリア  
の今後の利活用

本港区のまちづくりの  
節目に合わせて、  
適宜、更新

鹿児島港本港区エリアの事業展開

- 今後の本港区エリアまちづくりでは、エリアコンセプトプラン等に基づき関係者との調整や港湾計画等の計画調整を行い、事業を進める
- エリアコンセプトプランは、本港区エリアのまちづくりの節目において、適宜、更新

## 令和6年度の取組について

「年間365日、賑わう拠点」の形成に向け、次の取組を実施



### 鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会

- ・県や鹿児島市、関係団体等による懇談会を設置し、情報共有や意見交換を行う



### 利活用可能性調査

- ・民間活力導入を視野に、現状分析や民間事業者等との対話、活用方策の検討、ケーススタディ等を行う



### 北心頭旅客ターミナル補修調査

- ・旅客ターミナルの民間活用を見据え、エレベーターや空調設備などの現況調査を行い補修計画を策定

19

## 今後のスケジュール

	令和6年度				R7年度以降
	4~6	7~9	10~12	1~3	
鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会	年5回程度開催（R7年度以降も定期的に開催）				
利活用可能性調査		民間事業者等との対話	取りまとめ	民活導入検討	
北心頭旅客ターミナル補修調査		現況調査の実施，補修計画策定			必要な補修等
【参考】 スポーツ・コンベンションセンター	入札公告		落札者決定 審査結果公表	事業契約 締結・公表	設計・ 建設工事

20